



小牧市民病院 歯科口腔外科部長  
山家 誠

親知らずの治療



親知らず

今回は親知らずについてお話したいと思います。皆さんの家族にも親知らずが痛んだとか、抜いた後、顔が腫れたなどの経験がある方がいるかと思えます。市民病院歯科口腔外科は、年間500本以上の親知らずの抜歯を行っています。

親知らずとは

第三大臼歯、智歯とも呼ばれ、前から数えて8番目の永久歯のことです。通常17〜20歳頃に生えてくることから、「親が知らないうちに生えた歯」、「平均寿命が、40歳頃の時代で、親がすでに亡くなっている頃に生える歯」とも言われています。現在の高齢化社会では、「曾祖母知らず」と呼ばれるかもしれません。人類の進化の過程とも言われ、現代人の顎の縮小化により親知らずの生える場所が狭くなつてしまい、顎の奥に留まったり、横向きに生えてきたりしています（写真矢印）。それにより、智歯周囲炎、水平埋伏智歯、埋伏智歯と診断さ



▲横向きに生えた親知らず

れ、抜歯が必要となります。しかしながら、最近の若い人（新人類）では、親知らずそのものがない人も見受けられるようになりました。

親知らずであっても、親知らずが上下とも正常に生えて、かみ合い、機能している場合（深い位置に留まり、自覚症状が無い場合）。これらの場合は、必ずしも抜歯を行うことなく、しばらく様子を見ても良いかと思われれます。

親知らずを抜くときは？

- ① 親知らずの周囲の歯肉が腫れたり、痛くなったとき（親知らずと前の歯との間に食べかすが詰まる）
- ② かぶせ物、根の治療ができないむし歯のとき
- ③ 頬に繰り返し傷をつけるとき
- ④ 前の歯を圧迫しているとき
- ⑤ 前の歯のむし歯治療の妨げになるとき
- ⑥ 以前親知らず周囲が腫れた、出産の予定がある女性（妊娠時、ホルモンの影響により、炎症症状が増悪することもあります）
- ⑦ 親知らずの周りに袋（嚢胞）ができて大きくなる時

親知らずを抜いた後の症状は？

① 顔が腫れます。親知らずの位置にもよりますが、抜歯後、3日目腫れが大きいです（大事な用事がある週は避けた方がいいです）。1週間ぐらいいは、口が開き

づらく、飲み込みにくいことがあります。

② まれに、3日目ぐらいいは、血の塊が溶けて、骨が露出すると痛みが継続することがあります（ドラインソケットとも呼ばれます）。

③ まれに、親知らずの根の部分と、神経が近接している場合、しびれが、残ることがあります。

かかりつけ歯科を持ち、口腔の健康を維持し、受験時期、就職時期、出産時期に親知らずの悪影響を受けないようにした方が良いでしょう。複数の親知らずを一度に抜歯する、あるいは通常よりも顎骨の深いところに歯が埋まっている場合、入院にて、点滴から気分が楽になる薬を使用（静脈内鎮静法）しながらの抜歯をお勧めします。

お知らせ

4月より、厚生労働省から歯科診療保険の改定がありました。市民病院で施行される、一部の手術、放射線治療、化学療法において患者さんの口腔衛生管理を行うことを通して、医科・歯科の連携を高める内容です。地元歯科医師の協力のもと、歯科口腔外科の側面から、当院の治療効果を上げていく予定です。医師からの当科受診依頼に際しては、ご理解のほど、よろしくお願ひします。

問合先 市民病院（☎76-4131）